

荒川区教育委員会  
教育長 高梨 博和 様荒川区立大門小学校  
校長 油井 喜久

公印

## 学校関係者評価報告書

令和元年度の教育活動の評価結果及び改善方針について、下記のとおり報告します。

## 記

## 評価項目 1 「学校全体の様子」

- ・教育目標に沿って教育活動が行われていることがよく分かる。良好な結果である。
- ・大門小の児童は、明るく楽しそうに生活している姿が多いが、満足できていない児童にも配慮してほしい。
- ・学校へ来た際は、積極的に挨拶する児童や言葉遣い等改善点も感じられた。しかし、児童と保護者、先生方の評価の差が大きい。先生方はより上のレベルを求めている結果であろう。高みを目指して、先生方の意識をもっと上げていってほしい。
- ・児童理解においては、授業参観等から先生側はある程度できていると感じている。また、授業参観など先生方の丁寧な指導が伺える。今後も一人一人に丁寧に指導をしてほしい。
- ・健康、安全に関してはおおむね良い結果であった。

## 評価項目 2 「学力向上の取組」

- ・授業に関しては、少人数での授業の成果が出てきている。出来ない児童や苦手な教科のサポートをしっかりとお願いしたい。
- ・個に応じた指導や学習習慣においては、習熟度別学習での授業を行っているが、学校だけではやはり、限界がある。家庭の協力を得ながら学力の向上を目指してほしい。
- ・情報教育においては、学校ホームページの更新等、専門に担当する人員配置を教育委員会に要望したい。厳しいと思われるので、学校側で情報発信にもう少し努力をお願いしたい。
- ・学校図書館の活用においては、荒川区が力を入れていることもあり、蔵書も充実しているし、調べ学習にも十分に活用されているように感じている。

## 評価項目 3 「社会性・人間性の育成」

- ・人権教育に関しては、年 3 回の人権月間を設定し取り組んでいるのは良いことだと思う。
- ・道徳教育においては、良い取組ができていた。「特別の教科 道徳」が今まですすめてきた「道徳」とどのように違っているのか知りたい。
- ・教育相談においては、スクールカウンセラーが学校に配置され、子供や保護者の悩み相談に対応できるのは良いことだと思う。人間関係から担任には相談しにくいこともあると思うので、第三者が相談にのれるのは良いと思う。
- ・人間関係づくりに関しては、縦割り班の活動等で栽培活動等を行い、高学年が低学年の面倒を見る等して、好ましい人間関係を築く一助にしていることを実際に見聞きしている。今後も継続してほしい。
- ・自治的な活動に関しては、良好な結果である。児童を主体的に取り組ませている特別活動の成果であると考えている。

#### 評価項目4「保護者・地域との連携」

- ・情報発信においては、「大門だより、学年だより」では行っているが、学校HPの更新がされていなかったため、低い結果となっている。学校だより等は、先生方の過度な負担にならないように考えてもらってよい。
- ・相談への対応に関しては、保護者から問題があるとは聞いていない。学校で見かける様子では、日常的によく取り組んでくれているように感じている。
- ・日頃の児童集会や土曜授業公開、学校行事等を見ても多くの参観者が見られる。学校行事の参加については、例えば運動会の時に学校前の防災公園を駐輪場として使用できるようにする等、色々な配慮をしており良好と考えている。
- ・地域との連携については、以前と比べると地域行事への小学生やその保護者の参加が減ってきたように思う。学校と地域の協力が不可欠であるが、出来る範囲でよいと思う。
- ・意見の反映に関しては、概ね、良い結果が出ているのではないだろうか。

#### 評価項目5「特色ある教育活動」

- ・落ち着いた学校生活は、参観によって見てとれるので、確かな学力の定着に関しては、今後の学力の向上に期待している。
- ・規範意識の向上に関しても、学校自体に落ち着いた雰囲気があり、概ね良い結果である。今後も、大門小としての意識の向上を期待している。
- ・集団活動の充実に関しては、行事等を見ても雰囲気がとてもよい。今後も特別活動の取組を通して、仲間と協力できるようお願いしたい。
- ・安全意識の向上については、安全教育を通して、万が一に備える意識を今後ももたせてほしい。
- ・健康、体力の向上に関しては、週3回の授業だけでは厳しいと思う。冬場の持久走の取組や縄跳びはよいと思う。今後も休み時間など元気に外遊びを継続していけるとよい。教員が意識をもって授業や外遊びを奨励してほしい。

#### 評価結果を受けての学校の改善方針

##### 1 児童理解

- ・日々の学校生活の中で、児童のよさや努力しているところを積極的に見付け、励まし、称賛し、一人一人の能力を伸ばす取組を実践していく。

##### 2 学びの充実

- ・教員がさらに教材研究を重ね、楽しく分かりやすい授業を展開するようにする。また、個に応じた指導を心掛ける。

##### 3 社会性、人間性の育成

- ・集団と個の関わりを学ばせ、集団の一員としての役割分担や他の人の心情理解ができる児童を育てる取組を行う。
- ・話し合い活動等、児童の自治的な活動を多く取り入れ、リーダーの育成を図っていく。

##### 4 情報発信

- ・学校HPを更新する体制を整え、日頃の学校の取組や児童の様子を保護者や地域の方々に発信していく。